

働く世代の健康づくりの推進

1. 背景・経緯

枚方市では、「枚方市健康増進計画」を策定し、市民の健康づくりを推進している。第2次枚方市健康増進計画の中間評価(平成30年度)において、働く世代の健康づくりへの取組に多くの課題があることが明らかになった(適正体重を保っている人の割合が低い、運動習慣者の割合が低い、メンタル不調者の割合が高い等)。また、退職後に市国民健康保険に加入する際に、既に生活習慣病を罹患している人の割合が高く、65歳以上の生活習慣病の有病率及び医療費が急激に増えている状況であった。

これらより、退職する前の「働く世代」において健康づくりの取組を推進することが重要と考えられたが、働く世代の健康づくりは、職域における健康保険組合等(協会けんぽや共済組合、企業の保険組合等)が主に担当しており、市として、働く世代の健康づくりにアプローチする手段が乏しかった。そのため、まずは働く世代への健康づくりの推進体制を整備することとした。

2. 働く世代の健康づくりの推進体制の整備

働く世代の健康づくりを推進する上で、企業に従業員の健康づくりに取り組んでもらうことが重要と考え、企業へのアプローチ体制を整備した。また、働く世代の健康づくりを担う関係機関・団体と課題や目標を共有するため、「枚方市地域・職域連携推進連絡会」を設置し、連携体制を整備した。さらに、第3次枚方市健康増進計画等に「職場における健康づくりを支える環境の整備」を位置づけ、持続的な取組とするための体制を整備した。

(1) 企業へのアプローチ体制の整備

① 市による企業への普及

枚方市では、企業に従業員の健康づくりに取り組む必要性等を伝えるための普及活動を行っている。複数の企業等があつまる機会(企業団地等の総会や定例会等)の前後の隙間時間(10分程度)に、従業員の健康づくりの必要性を周知している他、総会や定例会等のテーマとして「健康づくり」を設定して頂き、測定会や健康講座等(1時間～1時間半程度)を実施している。

<測定会・健康講座の様子>



② 協力企業・団体による企業への普及

本市の取組に賛同し協力が得られる企業や団体が、それぞれが有しているネットワークを活用し、健康経営®[※]や枚方市の支援制度について広く普及啓発を図っている。

また、枚方市、全国健康保険協会 大阪支部、明治安田生命保険相互会社 大阪東支社の3者で「3者連携事業」を展開し、市内企業の健康経営を推進している。「3者連携事業」では、ダイレクトメールの郵送（協働チラシと健康宣言を同封）や各者関係企業への3者の支援体制の紹介、測定会や健康講座等の協働開催を実施している。



※「健康経営」は特定非営利活動法人健康経営研究会の登録商標で、従業員の健康保持・増進の取組みが、将来的に収益性等を高める投資であるとの考えの下、健康管理を経営的な視点から考え、戦略的に実践することを指す。

③ 「ひらかた健康優良企業」による企業への支援



ひらかた
健☆康
優良企業

「ひらかた健康優良企業」は、従業員の健康づくりに取り組む意思がある市内企業（本社・支社問わず）に対して、枚方市が取組を支援する制度で、登録企業には、従業員に対する健康講座の開催や、健康に関する各種ツールの提供、情報提供等の支援を無料で実施している。

<健康講座の開催>

保健師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士等、多職種で、様々なテーマの講座に対応している。



<健康に関する各種ツールの提供>



リーフレットの提供



専用ホームページの提供



啓発物品の貸出

④ 企業や団体との連携支援

企業を支援するにあたっては、職域の健康づくりを担当している全国健康保険協会や地域産業保健センター、健康経営の取組を支援している生命保険会社、枚方市スポーツ協会等と積極的に連携している。連携している様々な企業や団体においては、各種測定会や従業員の健康づくりに関する情報提供を実施しているため、枚方市による支援だけでなく、それらを活用することで、人員や予算がなくても取り組めることをアピールして、市内企業が従業員の健康づくりに取り組みやすくなるように支援している。

⑤ 従業員の健康づくりに取り組む企業をアピール

企業イメージのアップにつながるよう、インセンティブの一つとして、ひらかた健康優良企業に登録されている企業を市ホームページに掲載するほか、各企業の取組をまとめた「取組紹介冊子」の配布、市役所受付前において企業の取組展示(期間限定)をする等、従業員の健康づくりに取り組む企業を紹介している。

<取組紹介冊子>



<企業の取組展示>



(2) 連携体制の整備～枚方市地域・職域連携推進連絡会～

全国健康保険協会や地域産業保健センター等、働く世代の健康づくりを担う関係機関・団体と連携して取組を推進していくために、「枚方市地域・職域連携推進連絡会」を設置した。連絡会では、枚方市の健康課題の共有を図るとともに、課題解決に向けたグループワークを実施し、それぞれの活動を通じた更なる連携推進方法についての検討を行っている。



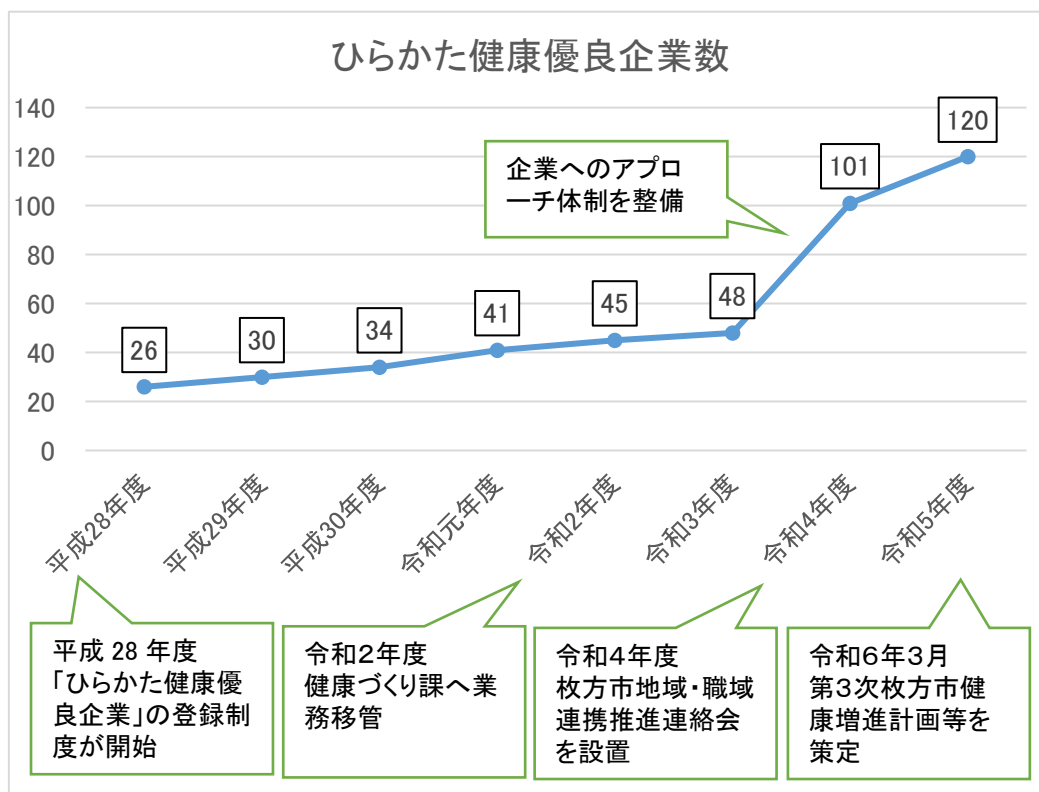
(3) 持続的な取組とするための体制の整備～第3次枚方市健康増進計画等への位置づけ～

働く世代の健康づくりを効果的かつ持続的に推進していくために、第3次枚方市健康増進計画、第2次枚方市歯科口腔保健計画、第4次枚方市食育推進計画に「職場における健康づくりを支える環境の整備」を位置づけ、目標項目を設定した。健康づくりの推進は1日や1年単位では効果が表れないことから、継続して実施していく必要があるため、計画に位置付けることで、担当者が変わっても持続的に取り組んでいける体制を整備した。



3. これまでの経過

平成26年度に中核市になり、平成28年度に「ひらかた健康優良企業」制度を開始した。令和2年度にそれまで担当していた保健所から健康づくり課に業務移管され、令和3年度に企業へのアプローチ体制を整備し、令和4年度に「枚方市地域・職域連携推進連絡会」を設置、令和5年度に「第3次枚方市健康増進計画」を策定した。



4. 今後の展開・課題

市民の健康づくりを推進するため、特に課題であった「働く世代の健康づくり」の体制整備を実施してきた。より多くの企業に取り組んでもらうことが必要となるが、健康づくりはすぐに結果が出るものではなく、効果が見えにくいいため、企業として取り組んでもらうには、ハードルが多い。そのため、企業が取り組みたくなるような魅力的なインセンティブを新たに創設する等、さらなる仕掛けが必要と考える。また、持続可能な事業展開とするために、予算の確保、サポートしてくれる企業との連携体制等について検討していく。

<問合せ先>

枚方市 健康福祉部 健康づくり課

TEL:072-841-1458

E-mail: kenkokaigo@city.hirakata.osaka.jp